



日本高野連発第24-0108号  
令和7年2月21日

都道府県高等学校野球連盟  
会長、理事長、専務理事、代表理事 殿  
審判委員各位  
加盟校校長 殿  
同野球部責任教師 殿

公益財団法人 日本高等学校野球連盟  
会長 寶



## 国民スポーツ大会での7イニング制導入について（通知）

平素より高校野球の健全な発展に種々ご尽力賜り、感謝申し上げます。

さて、当連盟は本日開催した第8回理事会にて本年滋賀県で開催する第79回国民スポーツ大会（硬式の部・軟式の部）で7イニング制を導入することを決定しましたのでお知らせします。

昨年、第6回理事会（12月6日開催）にて、「高校野球7イニング制に関するワーキンググループ」の答申をもとに、「7イニング等高校野球の諸課題検討会議」を発足させました。

発足の目的は、昨今の部員数の減少、教員の働き方改革、部員の障害予防対策・熱中症対策の推進など高校野球を取り巻く環境の変化、ならびに都市部と都市部以外の人口差の拡大などによる社会環境の変化を念頭に置いたうえで、7イニング制等諸課題について対応策をまとめるためです。

既に諸課題検討会議は、2回の会合を開催しており、本年12月の当連盟理事会へ向けて、高校野球の更なる発展を目指し、議論を尽くす計画です。

同会議で取り組む諸課題は、高校野球全体に関わる極めて重要なものであり、高校野球に関わる多くの方々の意見にも耳を傾けて議論を進めていく必要があります。

そのような中、第2回会合時（令和7年2月10日開催）に「都道府県高等学校連盟関係者や加盟校指導者は7イニング制を経験したことがないため、イメージが湧かない」という声が複数あるという意見が出ました。同会議で議論の結果、下記理由で今年開催予定の国民スポーツ大会において7イニング制に取り組むことについて第8回理事会へ諮ることとし、本日同理事会で承認された次第です。

### 【国民スポーツ大会で7イニング制を導入する主な理由】

1. 国民スポーツ大会では高校野球を特別競技として位置づけ、開催基準要項などに基づき4日間で終了（雨天順延なし）するという限定的な日程で実施している。また、高校野球では投手の障害予防対策として3連戦を回避するべく、休養日を設定する必要がある。このため、1球場で行う場合、第1日は4試合開催が必須となるが、1日4試合開催は、都道府県高等学校連盟の運営上、負担が大きく、さらに天候不良が重なった場合、短期間で順位を決定しなければならないことなどへの対処を容易にするため。

2. 出場する3年生部員の多くは高校卒業後、次の進路先でも野球を継続する者が多く、1、2年生部員は秋季大会の期間中の者もあり、イニング数を短くしたうえで勝敗を決し部員達への健康面への配慮をするため。
3. 国民スポーツ大会で日本高野連が主催する高校野球（硬式の部・軟式の部）において7イニング制に取り組み、出場校や大会運営にあたる役員など、実際に7イニングを経験した関係者から意見収集を行い、今後の議論の参考にするため。

本件については、公益財団法人日本スポーツ協会で開催される令和6年度第4回国民スポーツ大会委員会（3月4日開催予定）での審議を経て、最終決定されることも併せてお知らせします。

なお、7イニング制等高校野球の諸課題検討会議では、関係者（都道府県高等学校連盟、加盟校）ならびファンなど、高校野球を支えていただいている方々から広く意見を募り今後の議論に活かしていくべきという意見も出ております。詳細は次回の会合から議論に入る予定ですので、併せてお知らせします。

各位におかれましては、ご理解、ご協力のほどお願い申し上げます。

以上